

2. 指標設定

成果指標	指標名	事業計画実施件数(累積)	目標年度	H27	指標の設定理由			
	数値	73件			矢田ダム関連地域振興計画に基づく事業計画により設定			
活動指標	指標	a	事業計画実施数(累積)	b	対策会議の開催	c		d
	数値	目標	73件	目標	2回	目標		目標

3. 実績(上段・実績/下段・達成率)

成果指標名	単位	H20	H21	H22
事業計画実施件数(累積)	件	61 件	61 件	61 件
		83.6 %	83.6 %	83.6 %

活動指標名	単位	H20	H21	H22
a 事業計画実施数(累積)	件	61 件	61 件	61 件
		83.6 %	83.6 %	83.6 %
b 対策会議の開催	回	1 回	2 回	1 回
		50.0 %	100.0 %	50.0 %
c				
d				

4. 課題と対応

課題
用地確保の遅れや国の予算配分等により事業進捗の遅れがある
対応(改善点等)
用地交渉の推進及び国への予算要求並びに基金の活用に努める

5. 事業費・・・H20～H22(決算額)、H23(予算現額)

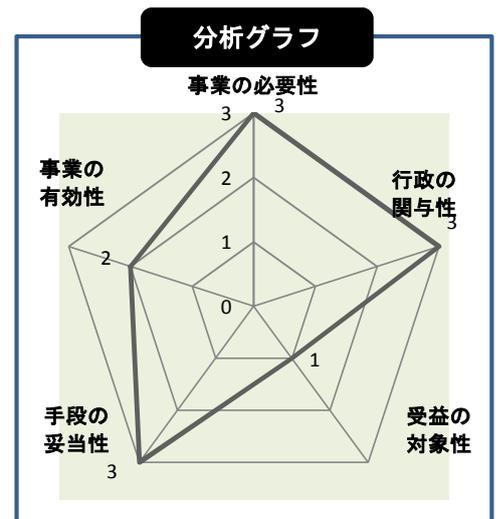
決算額(千円)		H20	H21	H22	H23
		84	152	628	400
うち経常経費		84	152	628	400
財源内訳	国費				
	県費				
	市債				
	その他			551	176
	一般財源	84	152	77	224
うち経常		84	152	77	224
事業費に係る人件費		425	427	438	430

6. H24年度予算の方向性

方向性
減額
理由
基金額の減により、基金利子積立額の減少が想定される

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 地域振興計画に基づき実施しているため
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 矢田ダム問題の経緯として、行政が責任を持つべき事業
③ 受益の対象性	事業対象の確認	1 矢田ダム関連地域に限定されている
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 事業の実施が成果となるため
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	2 残事業進捗の遅れ



8. 内部評価委員会評価(委員会評価)

事業の方向性	評価内容
継続	早期完成を目指すこと